



第15回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

平素は当院の診療業務にご理解、ご協力頂きましてありがとうございます。
2021年12月8日に第15回となります、地域連携セミナーを開催いたしました。
新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、前回同様にウェブ配信という形で
講演させていただきました。ご協力いただきました協和キリン株式会社様には
この場をお借りし感謝申し上げます。

今回は前回に引き続き症例報告といたしまして、

『コロナ禍における病診連携・多職種連携 ～安心して在宅療養を迎えるために～』

というテーマでお話しさせていただきました。

昨今のコロナウィルス感染症に伴って、入院中のご家族との面談が制約されるなか、退院となり在宅療養に移行の際に、様々な課題が生じております。
その課題を共有し、改善できればと、本テーマでセミナーを実施するいたしました。

【今回のセミナーの演者】

彩西ケアプランセンター鳩山 佐藤 美佐子 様

しあわせ生活 北坂戸訪問看護ステーション 看護師 武山 千加 様

当院 院長 野口 哲 先生

セミナーでは、3名の症例報告とともに、それぞれ症例における課題、問題点をお話していただきながら、今後の改善点や対応策をお話ししていただきました。
また、ケアマネジャー、看護師、医師と様々な視点での問題もお話していただきました。

セミナーの後半は、ウェブ上でディスカッションを行いました。

「コロナ禍における病診連携、多職種連携の問題点」

「コロナ禍における連携の工夫」

というテーマで参加者の方々とお話しすることができました。

セミナーの内容を一部ご紹介



コロナ禍における問題点

- ・面会ができず、介護をするご家族がご本人の状態・ADLなど把握されないまま退院となってしまう。
- ・状態、状況が把握できていないため、退院後の介護用品や介護サービスの準備ができていないまま退院となってしまう、退院後に本人、家族、介入するサービス事業者が慌てて準備する。

今後の改善、対応策

- ・情報共有の場である退院カンファレンスを開催してもらうように在宅側から病院側に依頼をする。
- ・介入前の面談で家族の状況、環境など介入するサービス間で共有し、必要なサービスや、物品の準備を進める。

講演を終えて

《彩西ケアプランセンター鳩山 佐藤 美佐子さん》

研修会を終えて振り返りますとご本人・ご家族・医療・介護、皆が同じ方向を向いて支援する大切さ、入院先の病院からの情報があやふやな中での支援の難しさを感じました。しかし、その中にもそれぞれの役割を果たすことが重要であると実感しました。拙いお話しかできず、また勉強不足を反省した研修となりましたが、良い経験でした。ありがとうございました。

《しあわせ生活北坂戸訪問看護ステーション 武山千加さん》

症例発表では、コロナ禍における病診連携・退院支援の難しさの課題が見えたのではないかと思います。病院側、在宅側も試行錯誤しながら対応している現状ですが、患者様・家族が不安無く在宅療養できるよう今後も考えていかなければいけない問題だと思っています。今回のセミナーを通じて様々な職種の意見を聞くことができました。今後の病診連携、多職種連携に活かしていきたいと思っています。

《北坂戸ファミリークリニック 院長 野口哲先生》

今回、『コロナ禍における病診連携・多職種連携～安心して自宅療養を迎えるために～』をテーマに介護支援専門員の佐藤美佐子様、訪問看護師の武山千加、小生で話をさせていただきました。コロナ禍においては入院中は面会制限があるため、コロナ禍では特に、病院スタッフと在宅スタッフが一同に集まり、本人について家族を交えながら話し合う場である退院支援カンファレンスの実施すること、退院後については在宅医療・介護との多職種協働をすすめることが重要である。地域の医療・介護に関わるスタッフによって、自宅が安心した療養の場と変わるのではないかとこのことを今回のセミナーを通して少しでも感じて頂けると幸いです。

次回の地域連携セミナーはウェブ形式で2022年3月頃を予定しております。詳細が決まり次第ご案内させていただきます。次回の参加も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。

地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

北坂戸ファミリークリニック 〒350-0229 埼玉県坂戸市薬師町3-2 TEL:049-280-8080 FAX:049-210-3812